広報 かじき

No.244
昭和50年 10

発行／加治木町役場・編集／総務課文書係
印刷所　吉屋印刷所

生産学習で親子の対話　（丸岡にて）

■メモ　人口／20,372　男／9,551　女／10,821　世帯／6,635　（50年9月1日現在）

町の最高齢者は98歳

「敬老の日」に祝賀行事

知事の贈りものを受けられる98歳の湯浅さん

十五日の「敬老の日」は、町内でも各部落をはじめ各地区で、敬老会や運動会など敬老の行事がありました。

町でも十三日長寿をお祝いして九十歳以上の家を訪問、県知事からの贈物や町のお祝い金を贈りました。また町婦人会、社会福祉協議会からもお祝いを贈りました。

役場の写友会でも例年新しく九十歳になられたお年寄りの顔写真を贈っておりますが、今年も長寿を記念して七人のかたがたに写真を贈りました。

辺川地区長寿会では、三年前の「敬老の日」に杉を植えております。今年も九月十五日は午前中、男はこの杉山の下払いをし、女は墓そうじをやり午後は地区の敬老会で長寿の祝いを受けました。

町青年団連絡協議会（会長吉村重樹三十人）でも、町内にある望岳園を訪問、踊りやお話し合いなどをして長寿を祝い喜ばれました。

九十歳といえば明治十八年生れになりますが、この方々の顔に刻まれた無数のしわには、明治・大正・昭和の三代を生きぬいてきた幾多の激動のあとが残されています。

今や私たちの社会は、この先輩たちの努力によって築かれ、今後も続いていくことでしょう。

私たちが訪問したさきざきでは「ほんとうに長生きしてよかったありがとうございます」と笑顔でお祝いのことばを受けられる姿が、幸福そうに感じられた。

しかし、すべての老人が幸福だとはいえません、なかには孤独な余生を送っている人もあることを忘れてはなりません、老人へのいたわり、老人の生活など、今後ますます老人福祉について考えていかなければならないと思います。

誰れでも生きているかぎり年をとっていかなければなりません、そのことを思うとき若い時は若いなりに老人を敬愛し、やがてやってくる自分自身に対する後輩の敬愛の対象になるのではないでしょうか。

九月十五日の「敬老の日」だけでなく、つねひごろから老人へのいたわりや思いやりがほんとうの敬老だと思います。

本町には、八十歳から八十九歳までが三百十一人、九十歳以上が二十六人で合計三百三十七人となります。

九十歳以上のかたがたは次のとおりです。いつまでも達者で長生きしてもらいたいものです。

九十八歳　湯浅ハル（新町）。
九十七歳　今中ヤエ（柳田）鶴田ケサマツ（望岳園）。
九十五歳　室屋スギ（望岳園）
九十四歳　今村セキ（蒲生田）扇園カ子チヨ（上木田）
九十三歳　小原トメ（竹下）
九十二歳　川原イト（端山）脇田エイ（今町）岩下ツタ（岩原西）
九十一歳　吉田タツノ（港町）渡辺キク（萩原）矢野エイ（西諏訪）上村フク（吉原）城ワカ（上木田）福元ケサキク（望岳園）
九十歳　中山サカエ（垂之口）花牟礼シヨミツ（井手向）猪俣彦七（毛上）市来原ケサミツ（市来原）岡山ミツ（西汐入上）岡山ミ子（西汐入上）高山セイ（岩原西）今西強一（上木田）丹生附イ子（望岳園）前畠半左衛門（下嶽）

町の環境を美しく

竜門青年会が花壇造り

竜門青年会（迫村正秋会長ら四十人）では、県道栗野・加治木線郷田坂の空地に花壇をつくりカンナや葉ゲイトウなどの花を植えました。

九月七日(日)会員たちは、各自スコップやツルハシ、山クワそれに自家用トラックを持ちより空地に捨てられているコンクリート・アスファルトの残がいなどを取り除く作業をやり、花を植えるための土を運び、生コン会社の試験用コンクリートの円柱を埋めて、きれいな花壇をつくった。

この県道は、ほとんどの会員たちが朝な夕なに利用していて、ゴミ捨場となりつつあるこの空地を自分たちの手できれいにしようと話しがまとまり、県の土木事務所にお願いし、花壇づくりの許可をもらったものです。

同花壇は青年会が今後管理を続け空港道路としてドライバーや行き交う人の目を楽しませてくれることでしょう。

竜門青年会では、今後も同地域内でこのような場所があれば、町を美しくするために社会奉仕をつづけていきたいと話していました。

会員のみなさんごくろうさまでした。

花壇づくりに精だす会員たち

町の秋季畜産品評会

和牛など57頭が出場

最終審査に残った牛に目が集まる

五十年度の町秋季畜産品評会は九月六日午前八時から旧種馬所跡で行われ、各大字から選ばれた和牛三十六頭、肉牛十五頭、種豚六頭が出場しました。

今年はとくにどの牛も体位と重量が非常によくなった、審査をするにも上位と下位の差がなく加治木町の牛は、つぶがそろっていて審査に時間が、かかりますと汗をふきふき慎重に審査が行われた。

表彰式にはいり、各部門ごとに賞状と賞品が授与され、団体では和牛の部で辺川地区、肉牛の部で小山田地区、種豚の部で反土地区にそれぞれ優勝旗がわたされました。

各部の入賞者は次のとおりです。

▽和牛第一部

優等＝末吉君子（小山田）大宮路鶴美（辺川）吉村次男（小山田）小宮路福義（辺川）。

一等＝永元初男（西別府）岩沢正男（小山田）吉田正己（小山田）坂元文男（日木山）中村正記（西別府）。

二等＝日高　勲（小山田）隈原甚兵衛（西別府）内村一男（反土）江口　昇（木田）。

▽和牛第二部

優等＝内村白男（小山田）鳥丸辰夫（小山田）向江　清（辺川）日高一夫（小山田）。

一等＝扇園敬次（木田）市来原秀義（小山田）末吉満也（小山田）大宮路五男（辺川）穂森親志（木田）中原正七（木田）。

二等＝穂森　保（木田）永元初男（西別府）内村静哉（西別府）谷口三郎（日木山）犬童武男（日木山）

▽和牛第三部

優等＝石原静喜（木田）内村忠志（小山田）城　直衛（西別府）

一等＝柚木　喬（小山田）大宮路魁（辺川）西森春美（西別府）

二等＝中村正紀（西別府）向江豊次（西別府）

▽肉牛去勢の部

優等＝穂満　茂（木田）下楠園正昭（木田）。

一等＝和田豊吉（木田）田丸孝男（木田）

二等＝下楠園正昭（木田）楠元公一（木田）吉村次男（木田）。

▽肉牛・牝の部

優等＝市野親義（小山田）

一等＝高崎　清（小山田）

二等＝満留武二（小山田）河野盛雄（木田）

▽肉牛・牡の部

優等＝市野親義（小山田）増田新（木田）

一等＝市野親義（小山田）楠元公一（木田）

▽種豚の部

ランドレース

優等＝柚木成人（反土）

一等＝柚木成人（反土）

バークシャー

優等＝末吉君子（小山田）

一等＝下小牧重雄（小山田）柚木成人（反土）。

▽チャンピオン賞（農業委員会）

肉用牛…内村白男（小山田）

肉牛…穂満　茂（木田）

種豚…末吉君子（小山田）

▽大字別成績

肉用牛の部①辺川②小山田③木田④西別府⑤日木山⑥反土。

肉牛の部①小山田②木田。

種豚の部①反土②小山田

入賞おめでとうございます。

赤い羽根

共同募金にご協力を

今年も十月一日から「赤い羽根共同募金運動」がやってきました。

福祉国家といわれる国々では、いずれも国民自身が〝たすけあい〟つまり社会連帯の精神にもとづいて積極的な活動をしています。そうした国民の意欲的な支えが、すぐれた社会の保障制度を築く原動力になっています。

赤い羽根運動もこのような精神によってつらぬかれており、住民みずからの協力活動をとおして、社会福祉に寄与することをすすめるものです。

□スローガン

今日も、あしたも、しあわせを

□運動期間

十月一日～十二月三十一日

□寄付金の使途

①福祉施設の人たち②寝たきり老人や心身障害児(者)などの在宅援護③歳末たすけあい④災害児の緊急援護など。

町民皆さま方のご協力をお願いします。

たすけあいを大きな輪に

福祉手当制度とは

10月から在宅の重度障害者に月額4,000円が支給される

□福祉手当制度とは

在宅の重度障害者（身体障害者手帳をもっておられない人も含まれます）で、その重度の障害のために生ずる、いろいろな負担の助として手当を支給し、重度障害者の福祉の向上をはかること。

□福祉手当を受けるには

次の要件が必要です。

■…精神又は身体に別に定める程度の重度の障害があるため、日常生活において常時の介護を必要とする程度の状態にあるもの。

■…日本国民であること。

■…身体障害者療護施設、老人ホームなどの社会福祉施設等に収容されていないこと。

■…障害年金（障害福祉年金を除く）廃疾年金等他の制度による給付（年金）を受けていないこと。

■…以上の要件に該当する人でもその人またはその扶養親族の収入が、一定の額以上あるときは支給が停止されます。

□福祉手当の額は

一人月額　四千円です。

□福祉手当の支給を受ける手続き

福祉手当の支給を受けるためには、所在地を所管する福祉事務所長に認定請求書を提出しなければなりませんので、町の福祉課へ申しでてください。

□福祉手当の支給は

福祉手当は、福祉事務所長が支給を受ける資格があると認定した人に対して、毎年度5月、9月、1月の三回に分けて、それぞれ前月までの分を町役場の窓口で支払います。

▽重度の障害者とは△

① 両眼の視力の和が〇・〇二以下のもの。

② 両耳の聴力が補聴器を用いても音声を識別することのできない程度のもの。

③ 両上肢の機能に著しい障害を有するもの。

④ 両上肢のすべての指を欠くもの。

⑤ 両下肢の用を全く廃したもの。

⑥ 両大腿を二分の一以上失ったもの。

⑦ 体幹の機能に座っていることができない程度の障害を有するもの。

⑧ 前各号に掲げるもののほか、身体の機能の障害又は長期にわたる安静を必要とする病状が、前各号と同程度以上と認められる状態であって、日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの。

⑨ 精神の障害であって、前各号を同程度以上と認められる程度のもの。

⑩ 身体の機能の障害もしくは病状又は精神の障害が重複する場合であって、その状態が前各号と同程度以上と認められる程度のもの。

▽支給が停止される場合△

受給資格者の前年の所得が、その者の扶養親族等に応じて、次の表に定める額をこえるとき

扶養親族等の数	金額
〇人	六〇〇、〇〇〇
一人	七六二、五〇〇
二人	九八二、五〇〇
三人	一、二〇二、五〇〇
四人	一、四二二、五〇〇

㊟扶養親族等の中に老人扶養親族がいる場合は、別に定める額を加算。

2.受給資格者の配偶者の前年の所得又は扶養義務者の前年の所得がその者の扶養親族等に応じて、次の表に定める額以上であるとき。

扶養親族等の数	金額
〇人	一、六三二、五〇〇
一人	一、八五二、五〇〇
二人	二、〇七二、五〇〇
三人	二、二九二、五〇〇
四人	二、五一二、五〇〇

▽認定請求書に添付しなければならない書類△

①戸籍の謄本又は抄本

②住民票（世帯全員のもの）

③診断書

④所得状況届

詳しいことは役場福祉課へどうぞ

重度障害児童に対する扶養手当の支給範囲拡大

身体または精神の重度障害児童（二十歳未満）を養育している人に対して、特別児童扶養手当が支給されていますが、法律の改正で十月から支給額が大巾に引き上げられ、あわせて支給対象者の障害範囲もひろげられました。

身体障害者手帳の級を例にとりますと、従来一級と二級の児童が対象者でしたが三級と四級の一部まで広大されました。

人体障害者手帳を持っている人には、台帳からひろい上げて、町から保護者あてにお知らせしますが、その他の方で次の対象者の例示に該当しそうな方は町の福祉課にお尋ねください。またくわしいことについてもご遠慮なくおたずねください。

対象者の例示（改正）

■両眼の視力の和が〇・〇八以下のもの。

■両耳の聴力損失が八〇デシベル以上のもの。

■音声又は言語機能に著しい障害を有するもの。

■両上肢の親指および人さし指又は中指を欠くもの。

■一上肢のすべての指を欠くもの。

■体幹の機能に歩くことができない程度の障害を有するもの。

■身体又は精神の障害で日常生活に著しい制限を受けるもの。

このほか十七項目にわたりきめられています。

手当の額（改正）

▽一級該当者（身障手帳では一級および二級）　月額一万八千円。

▽二級該当者（身障手帳では三級および四級の一部）　月額一万二千円。

話題あれこれ

青壮年ソフト大会
城北チームが優勝

青壮年ソフトボール大会は八月三十一日町総合グラウンドで十六チームが参加して行われました。

大会は社会体育の採点種目とあって、各チーム真剣そのもの。

年々盛かんになると共に技術も上達し、審判員も気をゆるせないゲーム展開に汗ビッショリ。リングトーナメントで一勝したチームが決勝トーナメントに進み城北チームが優勝の栄に輝きました。

成績は次のとおりです。

一位城北▼二位錦江(二)A▼三位永原。

大きな期待と喜びを
『カライモ学級』初収穫

社会教育の一環として、親子が共同で土いぢりをしながら生産のよろこびを味わうために、六月二十一日〝カライモ学級〟の開講式があって、早や三か月目の九月二十日（十五夜）に初の収穫をしました。

学級生の親子たちは自分たちで植えて、暇を見つけては草取りを続け追肥をしたりして、手入れをしたカライモがこんなに大きくなってとれましたと大喜びでした。

収穫されたカライモは、さっそく十五夜にそなえられ家族の食卓をにぎわしたことでしょう。

同学級はこのあと、冬野菜を作る予定で収穫後の畑には、さっそく大蔵大根の種子をまきました。

一番大きなイモ一個九百六十グラム

残暑の中で教養と訓練
県消防学校の現地指導

加治木町を含む姶良郡西部四か町の消防団員は、八月三十日町内の加治木中グラウンドで消防人としての質の向上をはかるため、一般教養や訓練など県消防学校の現地指導を受けました。

この現地指導は、県下の市町村を数ブロックに分けて直接現地に教官が出向いて指導するものです。

当日四か町の消防団員はムンムンする体育館で県消防学校教官の教養研修（学科）に耳を傾け、午後からは屋外で規律訓練を受けました。

団員たちは、手とり足とりで規律訓練の動作と小型ポンプによる操法、とくに変ったところを何回もくり返しながら指導を受け全員が良い成果をあげました。

キジ百羽を放つ
休猟区丸岡一帯に

ことしも十一月十五日がくると狩猟の解禁日でハンターにとっては最良のたのしみがふえます。

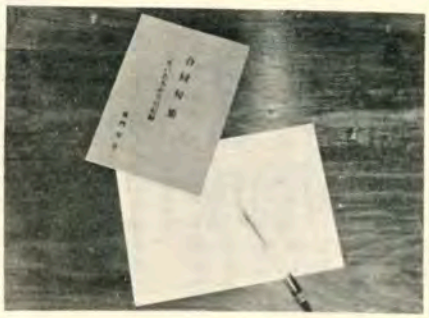
年々狩猟者はふえてきますが、一方鳥獣は減っております。

県では、これらの鳥獣を少しでもふやそうと、本年度新しく休猟区に指定する丸岡一帯（二百ヘクタール）に八月二十八日、キジ（オス・メス半々）を放鳥しました。

このキジは大隅郡の大崎町で、保護増殖されたものです。

放鳥されたキジが、向こう三年間の休猟期間中にどれだけ増えるか、また生きのびるか、その成果が期待されます。ハンターの皆さん狩猟については十分、法を守って事故のないようにしたいものです。

第一号の句集を発行
加治木の「竜門句会」



竜門句会では、長年の念願であった句集がこのほど発刊され、会員はむろん周囲の人々からも感動を呼んでいます。

句集は六十四ページで、同会員たちの秀作が数多く集録されています。

竜門句会は昭和二十一年ごろから牧　笛郎さんのきびしい指導で成長し、今では鹿児島市在住をはじめ、会社員や商店主、教師など職種はさまざまで、現在二十人の会員が、毎月一回の定例句会を開き、お互いの作を批評し合っています。

また、今後は若い人たちの参加を呼びかけ、俳句を通じて地域文化の向上に役立てたいとはりきっております。

多数の参加をまっています。

町連合婦人会
八・九月の行事から

（婦人会だより）

□婦人団体懇話会

八月二十六日町内各婦人団体の代表者が出席、婦人として、今何をどう活動すべきか、という事を中心に意見の交換をしました。

①町立図書館の日曜、祭日および土曜午後の開室を望む。

②テレビ番組の内容の正常化。

③悪書追放運動。

などに努力することを話し合いました。皆さまのご協力をお願いします。

□昭和五十年度結核予防大会

九月二日溝辺町コミュニティーセンターで開催されました。

最近結核に対する警戒心が少しゆるやかになっているようです。家族の健康は私たち婦人の手で守っていきたいものです。

□県民体育祭参加

九月二十日開会され、県下の婦人会代表二千三百人がマスゲームにその力を発揮しました。

加治木町からも三十名が参加、本当にごくろうさまでした。

□ふるさと学級

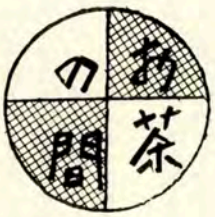
九月二十三日汰木清彦先生を講師にむかえ、加治木にもっとも影響を及ぼした島津義弘公の話しを中心に、郷土館の造物を見学、次の史跡めぐりの予備学習をしました。次回は十月二十二日です。

□施設を訪問

九月二十三日南九州病院とオレンジ学園を訪問しました。

先に会員の皆さまから出していただいたオムツを差しあげましたところ、とても喜ばれ「会員のみなさま方へよろしくお伝え下さい」とのことでした。

今後のご協力をお願いします。



□伊集院町婦人会との交流会

九月十一日郡婦連理事会との交流会がありました。伊集院町と加治木町はいろんな点で似ております。今後の交流をお願いしたいものです。

十月行事のお知らせ

▽九婦連大会

九月三十日・十月一日県文化センターその他において、九州地区地域婦人大会が開かれます。九州全県の婦人会代表が年一回集り、お互いの交流を深め研修し合う会です。当町より六名出席します。

▽生活学校

十月十五日の予定、テーマは「即席カレー」「スープの素」について。

▽ふるさと学級

十月二十二日史跡めぐりの予定です。

▽町民体育祭参加

十月十日ふるって参加を。

幾許の命燃やせよ秋の蟬　田代　俊一

碑にひび入るごとし蟻の列　渡辺　水鶏

昼顔やからみつきけり捨小舟　伊丹　司朧

大花火極まりて空うつろとも　是枝　快春

言ひ得ずに緑を行き交ふ蟻みつむ　松永　愛子

葡萄食む句集よりまなこ離さずに　永田　禾陽

秋天の白むや漁火の消え初めし　曽木　柳田

雁来紅妻が日傘を傾けて　鶴田　耕

降り続く火山灰に倦む日や萩垂れて　井之上透山

香水のほのかに匂ふ昇降機　中山　待香

読み更かし柿の月影庭を踏む　宮脇　思川

黄のテント硬く張られて野分立つ　横山　江南

手水鉢改め据えて秋の水　奥原　敬二

秋さやか吾が古き雅号龍門誌　田代きよし

初鵙に茶の湯気見えて亡父の忌　恒吉　斗南

銭蝶のはりとに当る盆前後　林　玄洋

糸蜻蛉昼寝の胸に来てとまる　松下　松風

妻の盛るマスカット色の今朝の秋　塩満　篤夫

孫孫孫やひ孫の時代に役立てばと、辺川の長寿会の会員たちは杉の下払いに余念がありません

九月十五日の敬老の日に

スポーツに親しもう

寒い冬が近づくにしたがって、わたくしたちの生活も家の中にひきこもりがちになります。

みんなでスポーツをし、スポーツテストで自分の体力をたしかめよう。

たばこは
町内のお店で
買いましょう

＝秋の全国交通安全運動＝

交通安全を呼びかけ

市街地をパレード

九月二十二日から十月一日まで秋の全国交通安全運動が実施されました。

町内の柁城小学校では、交通安全柁城分会と共催で児童の交通安全を呼びかけると、ともに一般へのピーアールを兼ねて、学校から蒲生田通りへと市街地を百九十人の小笛隊がパレード。

錦江小学校でも、児童の正しい自転車乗りについての、交通指導が行われました。

このほか各学校の補導部による児童、生徒の登校時の補導や町交通安全協会各分会の街頭補導および町広報車による一般への広報など町民が一体となって交通安全運動を展開した。

○一杯だけと飲んだ盃地獄酒（本町坂元孝子）

○まあ一杯・一杯どうぞが事故のもと（諏訪町川井田洋子）

○これくらいと思い飲む酒命とり（小山田石野キク）

この三点の標語は、先般加治木地区交通安全協会婦人部会（坂元広子部長）が行なった「飲酒運転追放」の標語募集から、優秀作品の内加治木町の分を掲載しました。

交通安全については、運動期間中だけでなく、かねての日も一人ひとりが交通事故のおそろしさを知り、注意しなければならないと思う。

パレードをする小笛隊

真剣に応対する交換嬢

始良地区電話協会（会長　長　直香）は、九月十九日港町にある電報電話局ラインマンセンターで同地区内の電話交換取扱者応対競技大会を開きました。

同大会には各事業所から選ばれたうぐいす嬢十五人が参加し、交換者としてのマナーぶりを競いました。競技は、モデル演技のあと外部からかかってきた電話を交換機をとおして内部の者に通話するもので、つまり交換者としてのマナーは完全かどうかなど、審査の対象となり、五人の審査員によって厳正な採点がなされ、次の方々が入賞されました。

入賞おめでとうございます。

■応答の部

①鶴巣景子（林田温泉）②林律（鹿児島空港）③今村加須美（霧島町役場）同船迫久子（林田温泉）④内村恵美子（加治木町役場）同渡辺悦子（南九州コカ・コーラ）

■電話帳早引の部

①内村恵美子（加治木町役場）②星原久美子（堀切KK）③新名順子（ホテル山藤）

始良地区　PBX電話応対コンクール

加治木は内村、渡辺が入賞

アメリカの家庭生活を体験

全員元気で帰える

第二回アカデミック・ホームスティー計画に、今年も加治木中学校から七人の生徒が参加し、一か月間米国の家庭生活を体験してこのほど全員元気に帰えってきました。

出発前と比べて「いくらかは成長した」とは送り出した両親の感想でした。

子どもたちが一か月のホームスティーで何を見て何を学んだのか「アメリカを見たまま」について九月十一日参加者の家族と校長先生をはじめ関係の先生方を呼んで体験報告会をしました。

「かわいい子には旅をさせよとよくいわれますが、七人の皆さんはご両親の決断で遠い異国へ行くことができて、ほんとうによかったと思います。

アメリカに行って良い勉強をされたことと思う。これからの人生に非常に役立つと同時に自信と誇りをもって他の模範となるようがんばってください」と校長先生のあいさつがあり参加者全員の自己紹介がありました。

このあと一か月間のアメリカ民宿生活記録のスライドを見ながら学校での学習、旅行など、楽しかったこと、まごついたことなどいろいろと体験談を報告、参加者を満足させました。なかには「親も行けないのに、子どもが先に行ったとは今の子供はほんとうにめぐまれています。」と、あるお父さんは話していました。

七人の生徒は、二班に分かれて日本を出発、他の中学生と合流、それぞれの家庭に民宿。ことばもカタコトで手まね身ぶりの生活だったが、皆んなが親切によくしてくれたので、なにも心配することはありませんでした。と話していました。

感想として

■日本とくらべて街も整備され、緑がきれいに感じられた。

■日本みたいに、こせこせしていない、広々としたゆとりのある環境であった。

■アメリカの生活はよかった。機会があったらもう一度いきたい。

■総合的には良い勉強をさせてもらいました。

両親をはじめ先生方には感謝しております。ありがとうございました。

参加者は次の方々です。

岩崎三枝子（三年）池田千里、下楠園　靖、東　和伸、西迫宏文、山元秀行、中摩浩太郎（以上二年）

町美術展に皆さまの作品をお待ちします

第十七回、町美術展が十一月十四日から三日間、町福祉センターで開かれます。

例年児童、生徒をはじめ一般の方々のご協力によって盛大に開かれております。

今年も町民の皆さまがたの作品を多数、出品していただくようお願いします。

■**日　時**
十一月十四日～十六日まで
九時から十六時三十分まで

■**場　所**
町福祉センター・大ホール

■**一般の方の作品は十三日午前中に搬入ください。**

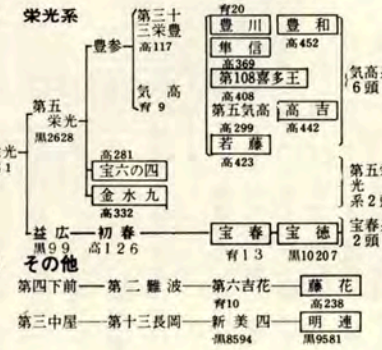
■**出品についての詳しいことは町立図書館にお問合せください。**

肉用牛の生産はよい種雄牛から

県では肉用牛の改良をすすめる上で、種雄牛として第一次分を十二頭だけ公表しました。

畜産業において、今後の交配および素牛導入の参考にしていただきたいと思います。

産肉性優良種雄牛血統図



中小企業従業員の独立開業に資金援助

『のれん分け資金融資制度発足』

中小企業の従業員が独立開業するために資金の援助をしようと「のれん分け資金融資制度」が七月一日から発足しました。

この制度は中小企業の従業員が勤め先の会社と同じ事業を新しく独立して始める場合、開業資金として融資しようとするものです。

内　容

■開業資金千三百万円、運転資金一千万円を限度として融資

■貸付利率は年九・四％

■貸付期間、設備資金が七年以内（すえ置き二年以内）、運転資金五年以内（すえ置き六か月以内）

■申し込み資格は勤続八年以上、同業種に通算十年以上勤務する者

除外される業種

中小企業団体法で新規開業の認められていない織物、マッチ製造などや、すでに新規開業特別貸付けが実施されている青果小売、豆腐製造販売、飲食業、旅館、理容美容業などがはずされます。

詳しいことは役場商工係か町商工会へおたずねください。

今月の納期　町民税・固定資産税（第三期分）

＝第七回＝『かんぽ資金』写真コンクールを募集

簡保資金融資施設（学校・公園公営住宅・道路・港湾・市場など）を題材とした明るい作品をテーマとして募集いたします。ふるって応募ください。

■**サイズ**…カラーはスライド35ミリ以上、白黒は四つ切り（単写真組み写真いずれも可）

■**受付**…郵便局の保険窓口

■**締切**…五十一年一月十六日

詳しいことは郵便局の保険課へ

〃〃〃〃〃〃一般特志寄付

＝町育英奨学基金へ＝

五万円　加治木町木田楠園　宮田　実

〃〃〃〃〃〃香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

＝町社会福祉協議会へ＝

五千円　朝日町　大平ツギエ（夫重雄）
五千円　中福良　湊　フヂエ（夫親喜）
三万円　楠　園　下楠園トミ子（夫重行）
一万円　須　崎　竹下俊夫（母エダ）
一万円　東ヒナバ　鹿屋春雄（母エイ）
一万円　桑　迫　寺師重義（母トヨ）
一万円　東汐入　藤田勝己（父種之）
一万円　東ヒナバ　山口ナイ（夫喜次郎）
二万円　東汐入　東　剛作（母ミオ）
二万円　蒲生田　山下隆之（母夕子）

お礼

加治木町の年中行事の一つ郷土民芸太鼓踊りは、さる八月十六日盛大に行なうことができました。

この行事の開催にあたり、町内各世帯をはじめ各事業所から多額のご寄付をいただき、ご協力くださったことについて深く感謝するとともに厚くお礼を申し上げますご協力ありがとうございました。

反土保存会長　福永　己次
木田　〃　下楠園　勲
西別府　〃　新　誠二
小山田　〃　富秋　泰蔵

二万円　須　崎　池田喜義（母宮路アサ）

＝町育英奨学資金へ＝

五千円　須　崎　池田喜義（母宮路アサ）

■九月二十日までのご寄付を掲載しました。

十月の在宅医

5日　平山医院　②二四六八
10日　玉利病院　②二三二八
12日　岩崎(昭)医院②二三一五
19日　池田医院　②二二二〇
26日　壱岐医院　②二二二二

■…診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。

■…当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください